

研究開発拠点を創業の地・王子に集約

「先端技術研究所」を本格稼働

～機動的な都市型研究所から、世界に向けた新たなモノづくりを～

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、東京都北区に「先端技術研究所」を2019年3月に竣工し、同年7月より本格稼働しました。価値創出の要である研究開発拠点を再編し、創業の地である王子に集約。当社グループの掲げる「世界で存在感のある企業への進化」の実現に向け、広く世界に通用する視点で、斬新な発想やシームレスなコミュニケーションによる新たな独自価値創出と「サステナビリティ」・「アダプタビリティ」の要素をもちあわせたモノづくりに取り組んでいます。



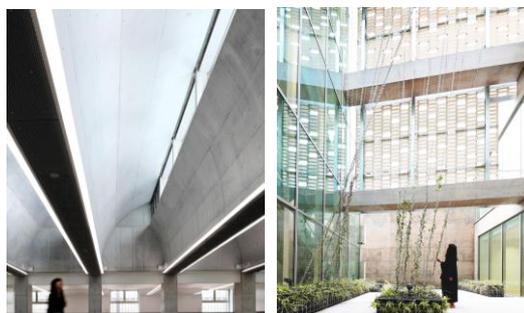
「先端技術研究所」の建設は、これまで東京都板橋区にあった「基礎研究所」を移転し、「製品開発研究所」と「技術情報センター」のある王子の一ヶ所に集約させ、“Compact & Swift”としたコンセプトの元、機動的に、かつ情報・発想がクロスする創造的な研究環境の実現を目的としています。この再編により、研究施設間の物理的・時間的・心理的距離が近くなるだけでなく、本社のマーケティング部門や販売部門との連携も一層密となり、消費トレンドやお客さまのニーズをいち早く捉えた研究開発を加速させていきます。

また、独自のモノづくりにこだわり創業した当社にとって、この地への集約は、脈々と引き継がれてきた当社のDNAとも呼べる、職人気質や挑戦への思いを伝承、進化させていくことを意味しています。その進化に向け、今後は新たな価値創出への化学反応を起こすべく、オープンイノベーションの考えのもと、モノづくりへのこだわりとともに、外部との連携の強化に取り組んでいきます。

(先端技術研究所の特徴的な設備)

1. 光や緑など自然を取り入れた創造的空間

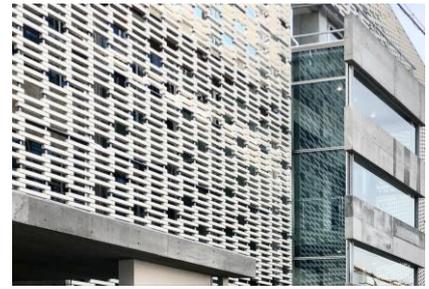
3階のメインとなる執務室には自然光が降り注ぐ天窓を設け、地階からの吹き抜けとなるサンクンガーデンには階上まで伸びるグリーンなどを植栽。リラックスできる空間を随所に設置することで、創発を喚起します。



【光が降り注ぐ3階の天窓(左)とサンクンガーデン(右)】

2. エレガントでありながら機能性に富んだ外壁

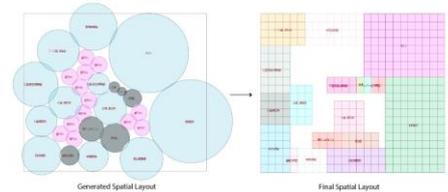
デザイン性とともに通風に優れ、遮光性、遮視性を確保。緻密に計算されたレンガの配置パターンとそれを実現するレンガ職人の匠の技の融合で、化粧品の研究所らしい佇まいにより、地域の景観となじむ都市型研究所を実現しました。配管などは、建物と外壁の間に設置することで露出をさせず、景観に配慮しつつ、研究・執務スペースを最大限確保しています。



【外壁のレンガ】

3. 効率性とイノベーションが両立できるゾーニング設計

業務を進める中で新たな発想が浮かんだ「場所」「タイミング」などについて設計開始時点で研究員にヒアリングを行ない、得られたデータおよび動線についてシミュレーション解析。研究業務の効率性斬新な発想によるイノベーションが両立できるゾーニング設計を実現しました。



【データに基づいた設計】

4. 最先端の評価研究棟を併設

地球上のあらゆる温度、湿度、光環境を再現可能な試験室を設置し、化粧品の使用効果を、「測定」「評価」「検証」する機能を幅広く強化。最先端の研究から得られた成果を、様々な環境下で評価・検証し、グローバルに製品展開する上での品質評価に不可欠な重要な施設です。



【評価研究棟 外観】

(今後の新たな取り組み)

1. オープンイノベーションの活用

化粧品開発における量子コンピュータの活用

(「先端技術研究グループ」を新設し、MDR 社との共創に着手)

- ・研究員の知的作業をコンピュータに移植し、「処方開発スピードの向上」
- ・ラボラトリーオートメーションによる「サンプル作製スピードの向上」
- ・知的作業および製造作業軽減による「研究員の創造性の向上」

2. お客さまとのダイレクトコミュニケーション

Maison KOSÉ[※]における、お客さまとのコミュニケーション強化

- ・先端技術にもとづいたソフトウェアやハードウェアの先行導入
- ・研究所員が直接ワークショップを実施するなど、お客さまとの対話を通じトレンドやニーズを収集

※2019年7月12日リリース <https://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2019/07/2019071201.pdf>

■先端技術研究所 概要

所在地	東京都北区栄町 46-3 (技術情報センター跡地)
敷地面積	2,167 m ²
延床面積	約 4,300 m ²
概要	地上 3 階、地下 1 階 RC 造
設計	日建設計
投資額	40 億円
竣工	2019 年 3 月

[参考]

■現在のコーセーの研究開発拠点

< 日本 >

・製品開発研究所

所在地	東京都北区栄町 48-18
敷地面積	3,090 m ²
延床面積	4,955 m ²
概要	地上 3 階、地下 1 階 RC 造
建築面積	1,336 m ²
稼働	2004 年 11 月



< フランス >

・研究所 フランス分室 (日)

KOSÉ R&D France (英・仏)

所在地	5, 5 bis et 5 ter Avenue Lionel Terray 69330 Meyzieu-LYON
稼働	2017年10月



■コーセー研究所の歴史

- 1946 年 小林孝三郎が東京都内の王子に小林合名会社を創業
- 1948 年 株式会社小林コーセーを設立
- 1956 年 研究部を設置
- 1964 年 独立した東京都北区栄町の東京工場内に研究所を設置
- 1988 年 東京都板橋区小豆沢に、基礎研究を主に担当する板橋研究室を開設 (後の基礎研究所)
- 2004 年 東京都北区栄町に、コーセー研究所 (現 製品開発研究所) を竣工し、同時に技術情報センターを開設 (現 先端技術研究所)
- 2019 年 東京都北区栄町に先端技術研究所および評価研究棟を竣工し、研究体制を同一拠点に集約

■コーセーの研究開発理念

コーセーでは、「お客様に心から満足していただける最高の品質の化粧品を創りたい」という創業時からの願いを、「Intelligence :英知」、「Sensuousness :感性」、「Reliability :信頼性」という3つの言葉に集約して、研究開発に取り組んでいます。安全性を最優先とした高品質な商品の提供により、お客さまの信頼に繋げる努力を継続して行うとともに、常に新たな化粧文化の提案と革新をもたらす商品を創出し、コーセーの「開発力」を支えてきました。

コーセー研究所 WEB サイト <http://www.kose.co.jp/company/ja/research/>

